2025 年度ウミネコ・セグロカモメの繁殖について

○田中　美晴　山口　進也　小林　智男　大滝　亜友美
（横浜市立よこはま動物園）

当園では 1999 年の開園当初からウミネコとセグロカモメ（亜種：モンゴルセグロカモメ）を海鳥舎で飼育してきた。これまでウミネコの自然繁殖を目指してきたが卵や孵化した雛は 2 週間以内に行方不明となる事例が多く、ヘビによる食害が主な原因と考えられる。2017 年に自然繁殖で 1 羽成育しているが、それ以外は人工孵化・育雛により増えた個体である。セグロカモメに関しては、個体数が少ないこともあり自然繁殖ではなく人工孵化・育雛により個体数を維持してきた。また、近年は鳥インフルエンザ感染予防対策のためカモメ類を毎年金沢動物園に移動させていたため、繁殖を進めるのが難しい状況だった。2025 年度に鳥インフルエンザ感染予防対策ネットを施工したことでカモメ類を移動する必要がなくなり、落ち着いた状況で繁殖に取り組むことができた。両種とも自然繁殖での繁殖を目指すため、今年度は人工孵化・育雛を行わなかった。その結果、ウミネコでは 1 羽の自然繁殖に成功した。セグロカモメでは孵化後すぐに死亡した雛が 2 羽と 3 卵の死籠りにより生育には至らなかったが、両種の自然繁殖の経過について報告する。